

ベネズエラ

今こそ諸国民が望む革命、本質的な原理としての世界平和の革命を！

セイコウ - イシカワ（駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使）

ロシア革命がいかに歴史上初めて勝利をおさめた労働者革命となったか、改めて振り返る価値があります。搾取も抑圧もない社会に向け、金融機関や企業の国有化、労働者による生産管理、草の根の民主主義組織としてのソビエトの急速な普及など、前例のない成果を挙げました。

その深遠で根本的な性質は労働者階級や農民階級に大きな影響を与え、ひいては世界の隅々にまで波及しました。1919年には共産主義インターナショナル（コミンテルン）が結成され登場したことにより、世界中の多くの労働者運動や政治運動にインスピレーションと希望をもたらしました。共産主義インターナショナルは、ただ一国の必要性のみに基づいて創設されたものではありません。時代の要請に応えるものだという信念のもと立ち上がった、人類規模を有する世界最初の政治プロジェクトでした。

革命とは、前向きな社会の激震です。進歩を志向し、時代の様相を変え、広大な地域の発展のペースを加速させる力を持つものです。

今日の世界はいまだ混乱のさなかにあります。混乱は主に大国、とりわけ米国とNATOの同盟国の利害によって起きています。すべての諸国民の願いや民族自決という不可侵の権利を犠牲にしてまで自国の権力とコントロールを維持し、思考・行動の型を押し付けようとしているのです。

ウクライナ、ロシア、イスラエル、パレスチナの人々にとって戦争は止むことがなく、暴力はレバノンなど他の地域にも広がっています。多くの人の命を奪い、人間の尊厳を侵害しています。また、米国や欧州連合（EU）などがキューバやベネズエラを含む30か国以上に対して一方的強制措置（訳注：いわゆる独自制裁）を実施するなど、非通常型の攻撃も人々を抑圧し、発展の可能性を大きく制限し続けています。

さらに、最悪の事態の可能性も潜んでいます。人類最大の脅威である、大国間の核紛争です。わたしたちは日本、特に広島・長崎で原爆の破壊的な影響を体験した人々の経験や証言を、常に意識し続けなければなりません。

今こそ、諸国民が待ち望む革命、すなわち本質的な原理としての世界平和の革命を主張すべき時です。多極的な世界、より公正な世界秩序の革命です。連帯、協力、相互補完性、社会正義の世界の革命です。わたしたちはこの動きを、ボリバル主義革命を通じてベネズエラから促進したいと願っているのです。ボリバル主義革命は先日25周年を迎え、ニコラス・マドゥーロ大統領—今年7月に、2025年～2031年の任期に再選された—の指揮のもと、ファシズムとの闘いの最前線に立ち続けています。

ベネズエラは9月11日に第1回ファシズム及び類似の表現に反対する会議を開催し、97か国から1200人以上が参加しました。同じ取組みの一環として、ベネズエラは反ファシズム・インターナショナルの創設を推進しています。国民主役の人民の民主主義、社会正義、人権を世界レベルで守るため、世界の社会運動と政治運動の連携を図ろうとする

ものです。

思想運動のすべての皆様にぜひこのイニシアチブに参加していただきたいと思います。

最後に、思想運動の皆様には、その正当な大義のため首尾一貫した行動をされていること、ベネズエラとボリバル主義革命に連帯いただいていることに改めて感謝申し上げます。同様に、今年のロシア十月革命の記念日に際し、わたしたちを結ぶ共通の価値、人民のよりよい未来のためにも取り組む意思をベネズエラから改めて表します。

(見出しは編集部による)